

# 目 次

## I. 総合報告書

地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究	1-1
(今村 知明 研究代表者)	

## II～IV. 各年度の総括・分担研究報告書

### II. 平成30年度 総括・分担研究報告書

#### [総括研究]

【総括研究報告書】 地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究  
(今村 知明 研究代表者)

A. 研究目的	2
B. 研究方法	2
C. 研究結果	4
D. 考察	6
E. 結論	8
F. 健康危険情報	8
G. 研究発表	8
H. 知的財産権の出願・登録状況	12

#### [分担研究]

##### 1. 医療計画グループ

【医療計画班①】 医療計画指標見直しに向けて 沖縄県庁ヒアリング結果を踏まえて  
(河原 和夫、伊藤 達哉、島崎 謙治、田極 春美、伴 正海)

A. 研究目的	1①-1
B. 研究方法	1①-2
C. 研究結果	1①-2
D. 考察	1①-5
E. 結論	1①-6
F. 健康危険情報	1①-6
G. 研究発表	1①-6
H. 知的財産権の出願・登録状況	1①-7

【医療計画班②】 医療計画作成指標のプロセスに係る検討 医療計画担当者へのヒアリングをふまえて

(河原 和夫、野田 龍也、伴 正海、伊藤 達哉、田極 春美)

A. 研究目的	1②-1
B. 研究方法	1②-2
C. 研究結果	1②-2
D. 考察	1②-5
E. 結論	1②-5

F. 健康危険情報	1②-5
G. 研究発表	1②-6
H. 知的財産権の出願・登録状況	1②-6
2. 病床機能グループ	
2-1 【定量分析班①】 構想区域の類型化について	
(藤森 研司、石川 ベンジャミン 光一、伏見 清秀、松田 晋哉)	
A. 研究目的	2-1①-1
B. 研究方法	2-1①-1
C. 研究結果	2-1①-2
D. 考察	2-1①-3
E. 結論	2-1①-3
F. 健康危険情報	2-1①-3
G. 研究発表	2-1①-3
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-1①-3
添付資料	2-1①-5
2-1 【定量分析班②】 病床機能報告データを用いた新しい入院基本料評価のためのツール 開発に関する研究 (松田 晋哉、得津 慶、村松 圭司)	
A. 研究目的	2-1②-1
B. 研究方法	2-1②-1
C. 研究結果	2-1②-2
D. 考察	2-1②-2
E. 結論	2-1②-3
F. 健康危険情報	2-1②-3
G. 研究発表	2-1②-3
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-1②-3
参考資料	2-1②-4
2-2 【地域包括班①】 地域包括ケア病棟における受け入れ患者層と運用実態に関する検討 (佐方 信夫、牧野 憲一、木村 慎吾、野田 龍也)	
A. 研究目的	2-2①-1
B. 研究方法	2-2①-2
C. 研究結果	2-2①-2
D. 考察	2-2①-4
E. 結論	2-2①-5
F. 健康危険情報	2-2①-5
G. 研究発表	2-2①-5
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-2①-5
別紙 1 ヒアリング概要	2-2①-6
別紙 2 ヒアリング概要	2-2①-9

【地域包括班②】病床機能報告データを用いた地域包括ケア病棟の類型に関する検討  
(佐方 信夫、野田 龍也、牧野 憲一、木村 慎吾)

A. 研究目的	2-2②-1
B. 研究方法	2-2②-1
C. 研究結果	2-2②-2
D. 考察	2-2②-6
E. 結論	2-2②-6
F. 健康危険情報	2-2②-6
G. 研究発表	2-2②-6
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-2②-6

2-3 【機能連携班①】大腿骨近位部骨折地域連携クリニカルパス対象患者の回復期病院における転帰情報分析 (副島 秀久、町田 二郎)

A. 研究目的	2-3①-2
B. 研究方法	2-3①-2
C. 研究結果	2-3①-2
D. 考察	2-3①-8
E. 結論	2-3①-10
F. 健康危険情報	2-3①-10
G. 研究発表	2-3①-10
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-3①-10

【機能連携班②】「回復期等移行チェックリスト」と「看護実践用語標準マスター(厚生労働省標準規格)」との対応の検討  
(瀬戸 僚馬、小林 美亜、池田 俊也)

A. 研究目的	2-3②-1
B. 研究方法	2-3②-2
C. 研究結果	2-3②-2
D. 考察	2-3②-3
E. 結論	2-3②-3
F. 健康危険情報	2-3②-4
G. 研究発表	2-3②-4
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-3②-4
参考資料 1	2-1②-5
参考資料 2	2-1②-7

【機能連携班③】地域医療連携推進法人における医療機能分化の推進・連携の取り組み  
(小林 美亜)

A. 研究目的	2-3③-1
B. 研究方法	2-3③-1
C. 研究結果	2-3③-2
D. 考察	2-3③-7

E. 結論	2-3③-7
F. 健康危険情報	2-3③-8
G. 研究発表	2-3③-8
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-3③-8

2-4 【実地検証班】医療・介護レセプト情報を用いた胃瘻造設に関する研究

(次橋 幸男、野田 龍也、今村 知明、林 修一郎、長野 典子)

A. 研究目的	2-4-1
B. 研究方法	2-4-1
C. 研究結果	2-4-1
D. 考察	2-4-2
E. 結論	2-4-2
F. 健康危険情報	2-4-2
G. 研究発表	2-4-2
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-4-2

3 研究成果の刊行に関する一覧表 3-1

**Ⅲ. 令和元年度 総括・分担研究報告書**

**[総括研究]**

**【総括研究報告書】** 地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究

(今村知明 研究代表者)

A. 研究目的	2
B. 研究方法	2
C. 研究結果	4
D. 考察	5
E. 結論	7
F. 健康危険情報	7
G. 研究発表	7
H. 知的財産権の出願・登録状況	9
添付資料	10

**[分担研究]**

1. 医療計画グループ

**【医療計画班】** 第7次医療の計画中間見直しに盛り込むに当たって必要な事項

(河原和夫、今村知明、野田龍也)

A. 研究目的	1-1
B. 研究方法	1-2
C. 研究結果	1-2
D. 考察	1-10
E. 結論	1-11

F. 健康危険情報	1-11
G. 研究発表	1-11
H. 知的財産権の出願・登録状況	1-11
参考資料	1-12
添付資料	1-16

【医療計画班】 5 疾病 5 事業における指標の使用状況に関する第 6 次医療計画と  
第 7 次医療計画の比較

(河原和夫、伊藤達哉、田極春美、菅河真紀子)

A. 研究目的	1-52
B. 研究方法	1-52
C. 研究結果	1-53
D. 考察	1-72
E. 結論	1-72
F. 健康危険情報	1-72
G. 研究発表	1-72
H. 知的財産権の出願・登録状況	1-72

2. 病床機能グループ

2-1 【定量分析班】 病床機能報告に基づく医療機能分化の実態把握と可視化に関する研究  
(松田晋哉、藤森研司、伏見清秀、石川ベンジャミン光一)

A. 研究目的	2-1-1
B. 研究方法	2-1-1
C. 研究結果	2-1-2
D. 考察	2-1-2
E. 結論	2-1-3
F. 健康危険情報	2-1-4
G. 研究発表	2-1-4
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-1-4

2-2 【機能連携班①-1】 回復期等移行チェックリストの実装に向けた既存帳票調査  
(瀬戸僚馬、小林美亜、池田俊也)

A. 研究目的	2-2-1
B. 研究方法	2-2-2
C. 研究結果	2-2-2
D. 考察	2-2-3
E. 結論	2-2-4
F. 健康危険情報	2-2-4
G. 研究発表	2-2-4
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-2-4

2-3 【機能連携班①-2】 離島・僻地におけるシームレスな地域医療連携を推進するための

方策 ～あじさいネットの活用～（小林美亜、瀬戸僚馬）

A. 研究目的	2-3-1
B. 研究方法	2-3-1
C. 研究結果	2-3-2
D. 考察	2-3-6
E. 結論	2-3-6
F. 健康危険情報	2-3-7
G. 研究発表	2-3-7
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-3-7

2-4 【機能連携班②】慢性期医療のデータ収集を可能にする診療記録の標準化—アウトカム志向型汎用看護記録による連携医療バリエーション分析と改善のアプローチ—（町田二郎、副島秀久、西岡智美）

A. 研究目的	2-4-1
B. 研究方法	2-4-1
C. 研究結果	2-4-3
D. 考察	2-4-5
E. 結論	2-4-5
F. 健康危険情報	2-4-5
G. 研究発表	2-4-5
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-4-5

2-5 【実地検証班】医療・介護レセプト情報を用いた医療介護連携分析  
（次橋幸男、長野典子、今村知明、野田龍也）

A. 研究目的	2-5-1
B. 研究方法	2-5-1
C. 研究結果	2-5-2
D. 考察	2-5-3
E. 結論	2-5-4
F. 健康危険情報	2-5-3
G. 研究発表	2-5-4
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-5-4

2-6 【地域実情分析班】地域医療構想における公立・公的医療機関等に求める具体的対応方針等の再検証に関する議論に係るオペレーションマニュアル  
（佐藤大介、小林大介、今村知明、野田龍也）

A. 研究目的	2-6-1
B. 研究方法	2-6-2
C. 研究結果	2-6-2
D. 考察	2-6-3
E. 結論	2-6-3
F. 健康危険情報	2-6-4

G. 研究発表	2-6-4
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-6-4
添付資料	2-6-5
3 研究成果の刊行に関する一覧表	3-1

#### IV. 令和2～3年度 総括・分担研究報告書

##### [総括研究]

【総括研究報告書】 地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究  
(今村知明 研究代表者)

A. 研究目的	2
B. 研究方法	2
C. 研究結果	3
D. 考察	5
E. 結論	6
F. 健康危険情報	6
G. 研究発表	6
H. 知的財産権の出願・登録状況	9

##### [分担研究]

###### 1. 医療計画グループ

【医療計画班】 疾病・事業ごとのPDCAサイクルの推進

第6次医療計画と第7次医療計画実施期のそれぞれの地域医療介護総合  
確保事業の事業内容の比較  
(河原和夫、伊藤達哉、田極春美、島崎謙治、菅河真紀子)

A. 研究目的	1-2
B. 研究方法	1-2
C. 研究結果	1-2
D. 考察	1-21
E. 結論	1-22
F. 健康危険情報	1-22
G. 研究発表	1-22
H. 知的財産権の出願・登録状況	1-22

###### 2. 病床機能グループ

2-1 【地域実情分析班】 地域医療構想における公立・公的医療機関等に求める具体的対応  
方針等の再検証に関する議論に係るオペレーションマニュアル  
(佐藤大介、小林大介、今村知明、野田龍也、阪口博政、伊藤達哉)

A. 研究目的	2-1-1
B. 研究方法	2-1-2
C. 研究結果	2-1-3
D. 考察	2-1-8

E. 結論	2-1-10
F. 健康危険情報	2-1-11
G. 研究発表	2-1-11
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-1-11
参考資料	2-1-12
添付資料	2-1-22
2-2 【定量分析班】病床機能報告データを用いた見える化の試み－薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師の職員数－ (松田晋哉、藤森研司、伏見清秀、石川ベンジャミン光一)	
A. 研究目的	2-2-1
B. 研究方法	2-2-1
C. 研究結果	2-2-2
D. 考察	2-2-3
E. 結論	2-2-4
F. 健康危険情報	2-2-4
G. 研究発表	2-2-4
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-2-4
添付資料	2-2-5
2-3 【機能連携班①】アウトカム志向型看護記録による連携医療の質改善に関する実証研究 (町田二郎、副島秀久)	
A. 研究目的	2-3-1
B. 研究方法	2-3-2
C. 研究結果	2-3-3
D. 考察	2-3-6
E. 結論	2-3-8
F. 健康危険情報	2-3-8
G. 研究発表	2-3-8
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-3-8
2-4 【機能連携班②】回復期等移行チェックリストの実装に向けた技術的課題の検討 (小林美亜、瀬戸僚馬、池田俊也)	
A. 研究目的	2-4-1
B. 研究方法	2-4-2
C. 研究結果	2-4-2
D. 考察	2-4-4
E. 結論	2-4-5
F. 健康危険情報	2-4-5
G. 研究発表	2-4-5
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-4-5
添付資料	2-4-6



## 2-5 【実地検証班】医療・介護レセプトの連携分析結果 1

(次橋幸男、野田龍也、今村知明)

A. 研究目的	2-5-1
B. 研究方法	2-5-1
C. 研究結果	2-5-2
D. 考察	2-5-2
E. 結論	2-5-3
F. 健康危険情報	2-5-3
G. 研究発表	2-5-3
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-5-4

## 【実地検証班】奈良県 KDB 様データを用いた百寿者及び非百寿者の死亡前医療費の比較

(中西康裕、赤羽学、今村知明、野田龍也、西岡祐一)

A. 研究目的	2-5-5
B. 研究方法	2-5-5
C. 研究結果	2-5-6
D. 考察	2-5-8
E. 結論	2-5-9
F. 健康危険情報	2-5-9
G. 研究発表	2-5-9
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-5-9

## 【実地検証班】レセプト電算用マスターと MEDIS の標準病名マスターにおける指定難病病名の収載状況について

(今村知明、野田龍也、西岡祐一)

A. 研究目的	2-5-10
B. 研究方法	2-5-11
C. 研究結果	2-5-11
D. 考察	2-5-12
E. 結論	2-5-13
F. 健康危険情報	2-5-13
G. 研究発表	2-5-13
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-5-13
添付資料	2-5-14

## 3. 令和 3 年度繰越研究

### 【実地検証班】奈良県および長野県 KDB を用いた分析

(今村知明、野田龍也、西岡祐一、赤羽学、中西康裕、次橋幸男)

A. 研究目的	3-1
B. 研究方法	3-1
C. 研究結果	3-2

D. 考察 .....	3-3
E. 結論 .....	3-3
F. 健康危険情報 .....	3-3
G. 研究発表 .....	3-3
H. 知的財産権の出願・登録状況 .....	3-5
4. 研究成果の刊行に関する一覧表 .....	4-1
V. 研究成果の刊行に関する一覧表 .....	5-1